

平成 29 年度 事業報告書
平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人くまの木里の暮らし

1. 平成 29 年度総括とトピックス

当法人の事業の中心である、星ふる学校「くまの木」の管理・運営事業については、工夫を重ねながら安定的な実施と質の向上に努めているが、本年度の宿泊利用は、見込みに届かず 5,917 人の実績となった。リピート利用やいくつかの大型新規利用はいただいているため、評価の低下や利用自体の落ち込みということではないとはみているが、今後、新規利用などをより具体的に、また、積極的に呼びかけていけるようなサービスや体制を整えていくべきという課題が見えてきた。そのために、現在のニーズや利用の実態、提供できるサービス、ターゲットなどを今一度丁寧に見直していく必要があると考えている。

体験プログラムについては、一定程度の質を確保しながら実施していくため、受け入れに消極的にならざるを得ない場面があった。現在のところ、人数、メニュー、実施をいったん絞っていく方向で考えている。昨年度に引き続いて実施している主催型の「星空教室」や「味噌づくり」はおおむねスムーズで参加者の満足度も比較的高いという印象を受けている。

くまの木自然クラブについては、本年度も安定的に活動を実施した。町生涯学習課から一部連携の相談をいただいたりしていることは一定の評価とみてよいと考えている。

くまの木里山応援団については、10 周年を迎え、3つの部門がスタートしたほか、10 周年の記念行事や冊子発行を行い、これまでの成果を総括した。

くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクトについては、ボランティアスタッフが事務局を担い、独自に会報を発行するなど、ボランティアスタッフや 12 組の登録メンバーとのつながりを強めた。登録メンバーからは継続的な参加を得ており、参加者の成長（自発・自治・自覚、くまの木から塩谷町全体への関心の広がり）についてもプロジェクトリーダーから報告されている。

なお、理事会を中心に、法人の中期・長期計画の立案やミッションの再確認に取り組むこととしたが、とりまとめには至らなかった。この取組みの中で、法人のあり方の課題も明らかになってきたため、課題をクリアしながら、ミッションに向かってしっかりと歩みを進めていきたいと考えている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)																										
1. 地域の資源や農山村の環境を活用した体験活動等を企画・実施する事業	①受託型体験プログラムの企画・実施 塩谷町～高原山麓の自然や文化にふれる体験プログラムを企画・実施した。	通年 依頼に応じて実施	星ふる学校「くまの木」及びその周辺	職員4人 指導者11人 (のべ51人)	不特定 1,891人 (のべ人数)	2,075																										
	②主催型体験プログラムの企画・実施																															
<p>【特記事項等】</p> <p>受託型体験プログラムについては、11種類（+特別プログラム3種類：竹を使ったものづくり、竹の箸づくり、野菜収穫）計80本を実施し、計1,891人の参加となった。実施回数及び参加人数の多いプログラム並びに月別プログラム参加者数を以下に記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天体教室 18回 636人 ※別途、星空教室6回 178人 ・うどんうち 14回 306人 ・魚つかみ 6回 261人 ・ハイキング 11回 191人 ・みそづくり 10回 76人 ・そばうち 4回 91人 <p>◆月別体験プログラム参加者数 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>240</td> <td>36</td> <td>68</td> <td>428</td> <td>323</td> <td>334</td> <td>72</td> <td>71</td> <td>22</td> <td>76</td> <td>193</td> <td>28</td> <td>1,891</td> </tr> </tbody> </table> <p>全体として当初見込みの8割程度の参加者数となった。見込みより大幅に利用が少なかった5月と11月は、体験を伴う宿泊利用が例年より少ない状況であった。</p> <p>前年度に引き続きゴールデンウィークは、プログラムと実施日時を先出しして募集する方法をとり、天体教室、ハイキング、うどんうち、竹を使ったものづくりをお楽しみいただいた。</p> <p>なお、本年度において、天体教室を含む、すべての体験プログラムについて見直しを行い、次年度リニューアルに向けた作業を進めた。あわせて、天体教室の赤道儀のメンテナンス、改造についても検討を進め、次年度早々の実施に向けての準備をほぼ整えた。</p>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	240	36	68	428	323	334	72	71	22	76	193	28	1,891
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																				
240	36	68	428	323	334	72	71	22	76	193	28	1,891																				

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)																										
2. 地域の資源や農山村の環境を活用した宿泊施設運営及び食事提供事業	① 宿泊施設の運営 地域資源を活用した宿泊施設(星ふる学校「くまの木」)の運営を行った。	通年	星ふる学校「くまの木」	職員 10 人	不特定 5,917 人 (のべ人数)	25,774																										
	② 食事提供 地元産食材を活用した食事を提供した。	通年	星ふる学校「くまの木」	職員 5 人																												
<p>【特記事項等】</p> <p>宿泊利用については、見込みを 270 人ほど下回る実績となった。見込みとの差が大きかったのは 7 月と 3 月で、7 月は夏休み入りのタイミングでの土日の利用が少なく、また、毎年利用いただいている 2 つの団体が規模縮小となったことが響いた。3 月は土日と春休み期間に大型の団体利用が入らなかった。</p> <p>ただ、リピート利用やいくつかの大型新規利用はいただいているため、評価の低下や利用自体の落ち込みということではないとみている。</p> <p>運営については、施設の楽しみ方やサービス向上に元小学校校舎であったというイメージを重ねていくという方針を立て、里の資料室にフォトスポットを設置したり、廊下に「給食だより」等の掲示物を作成するなどの工夫を重ねている。</p> <p>予定していたゴミステーションの整備は費用と時間の問題で、今年度は着手できなかったが、布団の更新については、まずベッドに使用する敷布団のみ手当をすることができた。前年度被害があったシロアリについては、町の予算で管理棟の一部について駆除の薬剤噴霧が行われた。</p> <p>食事提供事業については、業務の流れが円滑になってきたため、夏の繁忙期においてもこれまでに比べると安定した運営ができたと感じている。食事提供は利用者の評価を左右するポイントでもあり、また、地元農産物の活用・発信という点で地域貢献の意味合いが強い事業であるため、安定運営を保ちつつ、よりよく伸ばしていけるよう注力したい。</p> <p>厨房関係の設備等については、経年劣化により故障した冷凍ストッカーを更新し、特に夏季のキッチンスタッフの体調維持に考慮し、休憩室にエアコンを導入した。</p> <p>◆月別宿泊者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>251</td> <td>455</td> <td>699</td> <td>600</td> <td>1,600</td> <td>681</td> <td>255</td> <td>567</td> <td>438</td> <td>88</td> <td>146</td> <td>137</td> <td>5,917</td> </tr> </tbody> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	251	455	699	600	1,600	681	255	567	438	88	146	137	5,917
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																				
251	455	699	600	1,600	681	255	567	438	88	146	137	5,917																				

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
3. 人と自然を大切に する子どもを 育てる事業	くまの木自然クラブの運営 塩谷町内の小学校4年生～中学生を年間会員として身近な自然に親しむプログラムを実施した。	毎月1回 原則第3土曜日	星ふる学校「くまの木」及びその周辺を中心に 栃木県内	職員1人 ボランティア登録14人	自然クラブ 会員42人 のべ280人	548
	★具体的な実施内容★			実働11人 のべ61人		
	【体験会】 田んぼの生きもの調べ (保護者向ガイダンス)	4/22	「くまの木」周辺			
	高原山の石を調べよう	5/20				
	裏山オリエンテーリング	6/17	「くまの木」			
	水辺の生きもの調査①	7/22	「くまの木」周辺			
	水辺の生きもの調査②	8/26	雨天中止			
	合宿 (食事づくり、ナイトハイクなど)	9/23-24	「くまの木」			
	化石さがし	10/21 延期 11/18	矢板市(高原山)			
	わらリースづくり	12/16	熊ノ木体育館			
	冬の野鳥観察	1/27	井頭公園			
	自然クラブカルタづくり	2/24	熊ノ木体育館			
	あつまれ!自然好き	2/25	栃木県立博物館			
	【特記事項等】 10月に予定していた化石さがしは天候により現地の状況がよくなかったため、11月に実施予定だった「川のサケを見に行こう」は中止とし、化石探しを11月に振り替えて実施した。 今年度新規で、1年間の活動記録を見ながら自然クラブカルタをつくり、ふりかえりを行うプログラムを実施した。					

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
4. 里地・里山の 整備・保全を 行う事業	くまの木里山応援団活動 くまの木の裏山を自然とふれあうことのできる安らぎの里山に整備した。	毎月1回 原則第3日曜日	星ふる学校「くまの木」裏山等	職員1人 ボランティア(里山応援団員) 15人	周辺地域住民等 不特定多数	432
	★具体的な実施内容★					
	広葉樹伐採	4/16	コナラ広場			
	広葉樹伐採	5/21	コナラ広場			
	草刈り	6/19	散策路、広葉樹再生林			
	草刈り、下刈り	7/16	スギ幼齢林			
	下刈り	8/20	散策路、コナラ広場			
	親子で森づくり体験準備	9/18	体験林、広葉樹再生林			
	親子で森づくり体験【公開】	10/15	くまの木			
	下刈り、樹名板づくり *とちぎ里山塾研修受け入れ	11/19	カタクリ山、コナラ広場			
	コナラ広場片付け	12/16	コナラ広場			
	樹名板の作成・設置	1/21	裏庭・裏山			
	森づくりグループ交流会【参加】	1/28	長岡樹林地			
	下刈り 里山学講義【公開】	2/18	カタクリ山 星ふる学校「くまの木」			
	コナラ広場整備	3/18	コナラ広場			

<p>【特記事項等】</p> <p>本年度から里山整備部門、シェア農園部門、野外料理部門の 3 部門での活動を展開している。</p> <p>親子で森づくり体験は、降雨によりエコストープの火付けと炊飯体験に変更した。</p> <p>11月の活動日は、とちぎ環境・みどり推進機構「とちぎ里山塾」(研修)の受け入れを行った。</p> <p>2月18日に開催した里山学講義は、赤目の里山を育てる会伊井野雄二理事長、畝崎ファーム畝崎辰登さんを講師としてお迎えし、里山応援団10周年記念として実施した。あわせて里山応援団10周年記念の冊子も作成した。</p>
--

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)	
5・農山村地域の振興等にかかる各種実践及び調査・研究、普及・啓発事業	①星ふる学校「くまの木」(旧熊ノ木小学校)の管理事業 星ふる学校「くまの木」及び付帯施設物品等の維持管理を行った。	通年	星ふる学校「くまの木」	職員1人	周辺地域住民等 不特定多数	3,128	
	②「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト 星ふる学校「くまの木」の敷地内や隣接する水田に昆虫類の集まる環境を創出し、昆虫類とのふれあいの機会を設けた。		星ふる学校「くまの木」校庭、ビオトープ、裏山等	職員1人 ボランティア登録6人 実働6人のべ33人	登録者12組 のべ67人		
	★具体的な実施内容★						
	ビオトープと花壇の整備 早春の雑木林の観察	4/8					
	花壇の整備、モリアオガエルの観察	6/10-11					
	花壇の整備、県民の森で生きもの観察	7/8					
	花壇の整備、鳴く虫、アカトンボ	9/9-10					
	木の葉さらい、冬の生きもの観察	11/25					
	③直営施工による施設整備						
	④イベントの開催等 農山村地域の振興に関連する分野のイベント、ワークショップ、勉強会等を開催した。また、他団体が主催する当該分野のイベント等に積極的に参加し、情報収集とネットワークの拡大に努めた。			職員4人	周辺地域住民等 不特定多数		
★具体的な実施内容★							
くまの木公開デー	5/28	星ふる学校「くまの木」					
しおやGTとのコラボ事業 塩谷町郷土料理の調理実習	実施なし	星ふる学校「くまの木」					
アシスタント背景美塾とのコラボ事業 くまの木マンガ家体験	9/17	熊ノ木体育館					

	塩谷南那須教育事務所との コラボ事業 「親子体験活動」	10/7	星ふる学校「くま の木」			
	くまの木ゼミ	実施なし	星ふる学校「くま の木」			
	四季の星空教室	5/3、5/6、5/28、 9/24、11/18、 12/10、3/24	星ふる学校「くま の木」			
	⑤視察対応等 星ふる学校「くまの木」 及び当法人の取組みにか かる視察の対応や、農山 村地域の振興等に関する 分野の講演等を行った。 ・視察対応 5 本 ・講演、研修講師等 11 本 ・依頼原稿の執筆、ヒア リング、調査、取材等 の対応		星ふる学校「く まの木」ほか	職員 1 名	視察参加者 等 不特定多数	
	【特記事項等】 星ふる学校「くまの木」の管理作業については、敷地内の樹木の適正管理が課題となってい た。町と調整もしながら、本年度については、梅の木 5 本の伐倒・搬出、裏庭のクルミの伐 倒を行った くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクトについては、本年度も環境整備と観察会をセットに し、登録メンバーからの参加を得て実施した。 農山村地域の振興に関連するイベント等については、くまの木公開デー、くまの木マンガ家 体験！、親子体験活動、四季の星空教室を実施した。いずれも継続的に実施しているもので、 定員を超えるお申込みをいただいた。 しおやグリーンツーリズム推進協議会とのコラボ事業はスケジュール等の関係で実施でき なかったが、協議会主催の農家民泊現地研修への参加やツアー受け入れの協力など、自然体で 連携協力関係を保っている。 くまの木ゼミについてもスケジュール等の関係で実施ができなかった。今後は、実施体制や 職員の業務量も勘案しながら、適切な計画立案をすることとする。					

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数		事業費 (千円)
物品販売事業	施設および当法人の活動に 関連する物品等の販売 天体写真、革小物（くま ストラップ）、Tシャツ （ロゴマーク、新デザイ ン）、手拭（新デザイン） 等	通年	星ふる学校「く まの木」	職員 1 人		9

3. 理事会開催記録

(1) 第 59 回理事会

- 日 時：平成 29 年 5 月 14 日（日） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 25 分
出席者：手塚功、遠藤正久、市川貴大、大島忠三、加納（藤咲）麻紀子
議 事：議事 1. 平成 28 年度事業報告（案）について
議事 2. 平成 28 年度決算報告（案）について
議事 3. 平成 29 年度事業計画（案）について
議事 4. 平成 29 年度活動予算（案）について
議事 5. 定款変更について
議事 6. 役員変更について
議事 7. くまの木里山応援団の規約変更について

(2) 第 60 回理事会

- 日 時：平成 29 年 10 月 14 日（土） 午後 2 時 00 分～午後 5 時 15 分
出席者：手塚功、遠藤正久、市川貴大、大島忠三、加納（藤咲）麻紀子
議 事：議事 1. 平成 29 年度の事業進捗状況及び収支状況等について
議事 2. 天体関係ほか施設整備等について
議事 3. 平成 30 年度の事業計画（概要）と総会日程について
議事 4. 法人の中長期計画の策定について